

NAD⁺-タンパク質-アルギニン ADP-リボシル転移酵素

Cat. No. EXWM-2659

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

タンパク質モノADPリボシル化は、細胞活動の調節に関与する可逆的な翻訳後修飾です。タンパク質中のアルギニン残基は受容体として機能します。遊離アルギニン、アグマチン [(4-アミノプチル)グアニジン]、アルギニンメチルエステルおよびグアニジンも同様に機能します。一部の種からの酵素は、NAD⁺を受容体として使用することもできます（生成物としてN^ω-(2'-ホスホ-ADP)-D-リボシル]-タンパク質-L-アルギニンを生成します）が、より一般的になります。この酵素は、EC 4.6.1.1、アデニル酸シクラーゼのNAD⁺依存の活性化を触媒します。一部の細菌性エンテロトキシンは、類似の酵素活性を持っています。（参照: EC 2.4.2.36 NAD⁺-ジフチアミドADP-リボシルトランスフェラーゼ）。

別名

ADP-リボシル転移酵素; モノ(ADP-リボシル)転移酵素; NAD⁺:L-アルギニン ADP-D-リボシル転移酵素; NAD(P)⁺-アルギニン ADP-リボシル転移酵素; NAD(P)⁺:L-アルギニン ADP-D-リボシル転移酵素; モノ-ADP-リボシル転移酵素; ART; ART1; ART2; ART3; ART4; ART5; ART6; ART7; NAD(P)⁺-タンパク質-アルギニン ADP-リボシル転移酵素; NAD(P)⁺:タンパク質-L-アルギニン ADP-D-リボシル転移酵素

製品情報

形態

液体または凍結乾燥粉末

EC番号

EC 2.4.2.31

CAS登録番号

81457-93-4

反応

NAD⁺ + タンパク質L-アルギニン = ニコチンアミド + N^ω-(ADP-D-リボシル)-タンパク質-L-アルギニン

備考

このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5-9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法

短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。